

社会福祉法人すぎな会

令和 7 年度 業務運営方針

《 法 人 》

はじめに

中長期計画（2023 年～2027 年）の中間期となるが、2025 年は、いわゆる団塊の世代がすべて後期高齢者（75 歳）となる人口の高齢化の一つの山を迎える。さらに高齢化のピークとなる 2040 年に向かっていく。このことは生産年齢人口の減少と表裏一体であり、働き手不足がさらに深刻な問題として立ちはだかってくる。

足元の福祉サービス事業では、虐待防止等をはじめとした人権擁護、意思決定支援等利用者主体の支援が理念とともに具体的な形をもって示し実践しなければならない。人手不足という課題を抱えながら、当法人の障害福祉サービスが利用者にとってより良いものとなり、利用者が望むように健康が見守られ生活の幅が広がりまた、自立へ向けた思いが叶うように日々取り組んでいくことが大事である。

1. 各事業所の課題

（1）入所施設の定員変更

減員に対する対応として、人材と支援サービスの質の確保、生活環境の改善及び地域移行の促進

ア すぎな会愛育寮 定員 60 人から 50 人へ向け検討

イ すぎなの郷 定員 80 人から 70 人へ向け着手 さらに 60 人を検討

（2）デイセンターつくしの活動の再編

利用者の高齢化、職員体制から活動素材の見直し、グループ編成の見直し、農業活動等の外部支援者の開拓

（3）グループホームの拡充

既存住居の形態（2 階戸建て）の再考、スプリングラーの増設

入所施設からの地域移行の促進、在宅からの地域生活の受け入れ

（4）相談支援事業所すぎな

障害児・者の地域相談、計画相談、就労準備支援、ライフサポート事業

等業務拡大と人員配置（兼務）

2. 多機能型事業所の開設準備

生活介護（重度心身障害者）、児童発達支援及び放課後等デイサービスを一体運営する多機能型事業所の建設に向け建設準備委員会を始動させていく。着手が遅れたが、調査、計画立案に入っていく。潜在するニーズに応え、法人の新しい事業分野として開拓し、事業の活性化につなげる。

3. 人材確保と育成

新卒採用、中途採用、特定技能実習生（外国人）採用

多様な職種、業務に合わせた人材が必要で、派遣による採用が徐々に多くなってきたが、将来を担う人材の確保と育成が大事である。合わせて、外国人労働者（特定技能実習生）の活用について検討していく。

4. 業務継続計画（BCP）の作り込みと習熟

防災対応及び感染症対応の業務継続計画について、ある程度の作り込みが終了した段階で、職員研修を行い、運用への理解を深める。

5. 確認カメラ運用開始

利用者等に係る事故、怪我等の検証資料、利用者並びに家族・後見人等への説明責任、再発防止策、防犯、犯罪等の抑止等施設の適正管理とともに利用者、職員の安心・安全を図る。

運用要綱を定め、目的に沿った適正な運用をしていく。

6. 職員処遇の向上

国の処遇改善施策、全産業の賃上げ等の世情もあり、人材確保と職員のさらなる処遇改善を実施していく。具体的には、10月を目途にベースアップを図っていく。

7. 地域との関係

利用者の人権擁護、開かれた施設福祉など施策としてもより地域との連携が求められている。これまで培ってきた地域との関係をより広め理解を深めていく。

8. 家族・後見人との関係

家族・後見人は一括りはできず、利用者と表裏一体でもあり立場が違う側面もある。法人・施設と様々な協議や情報共有をしながら、利用者支援の向上と事業運営の発展のため、有用な関係を保っていく。

以上

《 すぎな会愛育寮 》

1. 重点実施目標

- (1) 利用者定員変更に係る検討と内部統制の再構築
- (2) ひとり一人の将来に向けた支援の推進
- (3) 福祉職としての人材育成の推進
- (4) 支援の自己点検の実施

2. 業務運営方針

- (1) 法人の業務運営方針に基づき、支援の質の確保と生活環境の改善及び地域移行の促進を視野に入れ、定員変更の検討を行い、明瞭な内部統制による施設運営を推進する。
 - ア 支援体制の安定と居住環境の整備
 - (ア) 入所施設及び日中活動の質の高い支援を目指すため、利用者定員の変更等の検討を行い、新たな支援体制を目指す。
 - (イ) 利用者状況に応じた居住環境の整備を継続し、入所施設としての機能を充実させる。
 - イ 積極的な情報発信、情報共有による内部統制及びフロア運営の再構築
 - (ア) これまで行われてきた日常業務について再構築のための点検を行う。それに伴い、支援の手順書等についても見直し、再整備を行う。
 - (イ) 点検と再整備を円滑に進める手段のひとつとして、「すぎな会の『報告・連絡・相談等』について」を活かした業務の取り組みを活用、自由で活発な意見交換の場の整備と新たなチームづくりを推し進める。
- (2) 利用者一人ひとりの現在の生活と将来の生活を見据え、検討を重ねる。
 - ア 自己決定を尊重した支援並びに現在と将来に向けた支援の推進
 - (ア) 日中活動専任の職員を配置し、これまでの活動素材の充実を図るほか、利用者の持てる力が発揮できるよう新たな活動素材の開拓を検討する。
 - (イ) 利用者の望む生活の実現に向け、地域移行、また就労支援等について、多職種が連携してひとり一人の将来を見据えた支援に取り組む。
 - イ 生活の質の向上と心身の健康
 - (ア) 入所施設を必要とする方が精神面を含めて安定し、将来に向けた生

活の構築につながるよう支援内容の充実とともに支援の質の向上を図る。

(イ) 施設内外の安全点検及び管理を適切に迅速に行い、清潔で安心できる生活環境の維持、向上に努める。

(ウ) 持病をはじめ日々の体調管理は、利用者を取り巻く関係者と嘱託医等の医療機関との連携により、健康維持、増進に努める。

ウ 地域社会との交流

(ア) 地域社会の一員として利用者、職員ともに地域の活動へ参加する。

(イ) ひとり一人に応じた社会参加の機会を準備し、地域の方々との交流を積極的に行う。

(3) OJT を基本に福祉職としての人材育成の推進と働きがいの充実を図る。

ア OJT を基本とした人材育成を推し進め、また外部の研修も活用して福祉職支援員としての育成に努める。

イ 職員ひとり一人が心身ともに健康で意欲的に就業できるよう、様々な機会をとらえ、職員との意見交換を継続し、風通しの良い職場環境の充実を図る。

(4) 支援の質の向上を図るため、職員自身の振り返りの機会として支援の自己点検を実施する。

以上

《 すぎなの郷 》

1. 重点実施目標

- (1) 利用者の人権と意思を尊重した支援の取り組み
- (2) 定員数変更による支援体制の整備と安定化
- (3) 支援の自己点検の実施

2. 業務運営方針

- (1) 施設運営を組織的かつ円滑に進めるため、以下の事項に取り組む。
 - ア 利用者定員の減員により、定員数を70名に変更する。フロア編成・職員配置等、支援体制を整備し安定化を図る。

- イ 職員一人ひとりが役割に責任を持ち、主体的に業務を遂行すると共に、利用者支援の向上に努める。
 - ウ 職員間の意思疎通が図られ、風通しの良い職場環境となるよう、意見交換等を定期的に行う。
 - エ 各プロジェクト活動と研修等を通して、知識・支援技術の向上に努める。
また、OJT と外部研修等を通して人材育成に努める。
- (2) 利用者支援について、以下の事項に取り組む。
- ア 利用者の人権を尊重し、日々丁寧な支援を心掛ける。
 - イ 意思を尊重し充実した生活が送れるよう支援方法の検討を行い、個別支援計画を基本に、支援内容を共有して取り組む。
 - ウ 日々の健康管理において、看護師・管理栄養士と連携し、情報共有と細やかな対応に努める。
 - エ 日中活動の充実を図り、安定的に行えるよう、活動内容と職員体制の整備を推進して行く。
 - オ 生活環境の安全点検・整備を行い、清潔保持・健康維持と事故防止に努める。
 - カ 地域の行事や活動に参加し、地域の方々との良好な関係づくりに努める。
- (3) 支援の質の向上を図るため、職員自身の振り返りの機会として支援の自己点検を実施する。

以上

《 すぎな会生活ホーム 》

1. 重点実施目標

- (1) 利用者の人権に配慮し意思を尊重した生活支援
- (2) 安定した支援体制
- (3) 支援の自己点検の実施

2. 業務運営方針

- (1) 利用者支援について以下の取り組みを行う。
 - ア 利用者が安心して暮らせるよう人権に配慮し、意思を尊重した支援を行う。
 - イ 個別支援計画に則り、利用者一人一人の生活が充実したものになるよう支援する。
 - ウ 職員間で意思疎通を図り、情報を共有し利用者支援に取り組む。
 - エ ホーム間で連携、協力し安定した支援体制になるよう努める。
- (2) ホーム支援員会議にて人権擁護に関する研修を開催し、人権に対する意識を深め、利用者支援の質の向上を目指す。
- (3) 地域の行事や自治会活動に積極的に参加し、障がい者への理解を深めてもらうよう地域との良好な関係づくりに努める。
- (4) 入居を目的とした体験利用をおこない、入居に繋げる。また、外部からの情報も取り入れ新規の入居者を募る。
- (5) 高齢化に伴い、現在の建物構造（2階戸建エレベーターなし）について検討する時期と考え、利用者の住環境について模索していく。また、補助金を活用してスプリンクラーの設置を進めていく。
- (6) 支援の質の向上を図るため、職員自身の振り返りの機会として支援の自己点検を実施する。

以上

《 すぎな会生活ホームⅡ 》

1. 重点実施目標

- (1) 高齢化した地域生活の支援
- (2) 利用者の人権に配慮し意思を尊重した生活支援
- (3) 支援の自己点検の実施

2. 業務運営方針

- (1) 利用者支援について以下の取り組みを行う。
 - ア 日中の支援及び介護を必要とする利用者が地域において、豊かな生活が

送れるよう意思を尊重した支援を行う。また、介護的な支援が必要な方が増えてきている為、介護技術を学び安心した生活ができるようにしていく。

イ 個別支援計画に則り、利用者一人一人の生活が充実したものになるよう支援する。

ウ 職員間で意思疎通を図り、情報を共有し利用者支援に取り組む。

エ ホーム間で連携、協力し安定した支援体制になるよう努める。

(2) ホーム支援員会議にて人権擁護に関する研修を開催し、人権に対する意識を深め、利用者支援の質の向上を目指す。また、介護技術の研修も計画的に実施していく。

(3) 短期入所の受け入れを各方面に積極的に周知し、短期入所の利用を進める。

(4) 地域の行事や自治会活動に積極的に参加し、障がい者への理解を深めてもらうよう地域との良好な関係づくりに努める。

(5) 支援の質の向上を図るため、職員自身の振り返りの機会として支援の自己点検を実施する。

以上

《 デイセンターつくし 》

1. 重点実施目標

- (1) 支援体制と活動素材の再整備
- (2) 職員の支援技術の向上
- (3) 支援の自己点検の実施

2. 業務運営方針

- (1) 法人の業務運営方針に基づいて事業所運営における課題解決に向けた取り組みを推進し、支援体制の安定を図る。

ア 支援体制の安定

(ア) 現在取り組んでいる活動の検証を行いながら、地域との連携を進め

ていく。農福連携については、今年度も引き続き実施していく。

(イ) 活動の再編成を行い、作業棟をはじめとする活動室全体の利用方法の再考を行う。

(ウ) 在宅利用者を含む朝夕の送迎について、今後も安定して実施できるように安全管理を徹底する。

イ 福祉職の人材育成と働きがいのある職場環境の整備

(ア) 多様な外部研修を活用し、内部の人材育成では OJT を基本に福祉職支援員としての育成に努める。

(イ) 引き続き、施設内、法人内の他施設、事業所とも活発な意見交換を行い、風通しの良い職場環境を充実させる。

(ウ) 職員一人ひとりが心身ともに健康で意欲的に就業できるよう、職員との面談を継続、また様々な機会をとらえて意見交換を行う。

(2) 利用者の人権擁護と意思の尊重、安全で安心できる日中活動の支援に努める。

ア 利用者の意思と自己決定を尊重した、個別支援計画に基づく支援を押し進める。

イ 日中活動の充実、安定を図るために活動素材を開拓し、個々の利用者の日常生活の充足並びに将来を見据えた支援となるよう取り組みを継続する。

(3) 支援の質の向上を図るため、職員自身の振り返りの機会として支援の自己点検を実施する。

以上

《 相談支援事業所すぎな 》

1. 重点実施目標

- (1) 相談支援の提供体制の充実と安定
- (2) 支援の質及び専門性の向上
- (3) 支援の自己点検の実施

2. 業務運営方針

- (1) 法人の業務運営方針に基づき、相談支援事業体制の充実を図る。
- ア 多様な相談内容に対して柔軟に適切に対応がなされるよう、人員配置及び環境整備等、提供体制の充実を図る。
 - イ 相談者一人ひとりの人権擁護と意思を尊重した支援となるよう、各関係機関等との細やかな情報共有と意見交換に努める。
 - ウ 厚木市からの各種委託事業をはじめ、かながわライフサポート事業等、障害だけでなく多様な相談内容に対応するため、各関係機関との連携を密にして相談者の安心、安全につながるよう努める。
 - エ 法人が進める公益的な取り組み推進に呼応し、地域で支援が必要とされる事案や課題の掘り起こし等で連携する。
 - オ 法人の新規事業である多機能型事業所の開設準備の始動に際しては、情報収集等において連携する。
- (2) 相談支援専門員としての専門性向上の推進と人材育成、働きがいの充実を図る。
- ア 資格研修をはじめ、専門性を高めるための外部研修の受講を積極的に進め、相談支援専門員として専門性と支援の質の向上を図る。
 - イ 内部で実施する相談支援会議のほか、各相談支援専門員が担当するケースについて意見交換する機会を設けて質の高い支援を目指す。
 - ウ 職員ひとり一人が心身ともに健康で意欲的に就業できるよう、職員との意見交換を継続し、風通しの良い職場環境の充実を図る。
- (3) 支援の質の向上を図るため、職員自身の振り返りの機会として支援の自己点検を実施する。

以上